

# ようこそ！ “鐘のなるまち”へ

Welcome to Chippubetsu!



「屯田の鐘」の役目を受け継ぐ巨大な鐘が時を知らせる秩父別町。  
「鐘のなるまち」の由来となるその鐘が設置された百年記念塔を中心に、  
さまざまな施設が集まり町の魅力を引き立てているのが、  
町の中心部に広がる「ベルパークちっぷべつ」だ。  
話題のこども屋内遊戯場「キッズスクエア ちっくる」や、  
2018年7月には新施設がオープンするなど、ますます目が離せない！



秩父別町郷土館に収蔵されている、町指定文化財の「屯田の鐘」。

屯田兵が拓いたまち

## 秩父別町

開拓者の熱意が息づく  
農業のまち・秩父別町

秩父別町は、札幌から北へ車で約90分、空知地方北部に位置する、石狩川と雨竜川に挟まれた肥沃な土地に恵まれた、農業が盛んな町だ。面積約47km<sup>2</sup>の平坦な大地で、米を中心としたさまざまな作物が生産されている。

明治28（1895）年から翌年にかけて入地した、北方防衛の戦力と開拓労働力を兼ね備える屯田兵とその家族によって開かれた秩父別町は、鬱蒼とした未開の原生林を切り開き、ぬかるむ湿地と格闘しながら開墾された。道内で稲作が盛んになると秩父別でも米が栽

培されはじめ、屯田兵が解体された後も稲作に対する熱意はその後の町民たちへ受け継がれて、稲作は自慢の美味しいお米を生み出す基幹産業になった。

開拓当時、屯田兵に時を知らせた「屯田の鐘」があった。その役目は現在、町の中心に立つ開基百年記念塔に設置された洋鐘が引き継ぎ、「鐘のなるまち」のシンボルとして1日4回、町民に鐘の音を響かせている。



▲自由移民や小作農の住宅とは一線を画す豪華さだったという屯田兵屋。(写真：秩父別町所蔵)



▶秩父別郷土館にある「開拓の像」。一本の丸太から彫られた、木彫りの屯田兵像。

秩父別町郷土館  
秩父別町2条1丁目  
TEL.0164-33-2555  
(町教育委員会)  
10:00~16:00  
月曜、年末年始休

